

さわやか

第59号

発行
社会福祉法人 清心会
埼玉県秩父市寺尾2825
電話 0494 (24) 9951
FAX 0494 (25) 3347
E-mail:sayaka1@viola.ocn.ne.jp



「12月24日 御下賜金伝達式」

謹賀新年

「年頭にあたり」

謹んで新年のお喜びを申し上げます。日頃皆様には、清心会さわやかグループの諸事業に対する温かいご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。さて、すでにご承知と思いますが、昨年12月3日秩父夜祭の日に、臨時国会参院本会議で、障害者自立支援法一部改正法案が可決成立しました。

これにより、平成25年8月施行を予定している新法までの間、現行法の不備部分が見直されることになりました。この法案は、成立に至るまでが難産だっただけに朗報といえます。

また、今年には新法（仮称総合福祉法）制定に向けて、活発な議論が展開された制度改革推進会議、総合福祉部会で一定のとりまとめがなされることになっており、障害者基本法

の改正とあわせ、障害福祉の新たな方向が明らかになると考えられます。それから、昨年末に当法人にとりまして大変喜ばしい出来事がありました。平成22年度優良民間社会福祉事業施設として、天皇誕生日に際し、金一封が下賜され、埼玉県庁において上田知事より伝達がありました。

（写真）この御下賜金は毎年、都道府県、政令市より一事業所が選ばれており、埼玉県は当法人の業績が評価され、拝受の栄を受けました。

昭和58年、労苦の末、当法人を立ち上げ、今は鬼籍に入られた柴原先生、邊見先生、森田先生はじめ、今日に至るまで、惜しみなく支援の手を差し伸べて下さった多くの関係皆様に改めて感謝を申し上げます。

に、これを機に法人職員一同さらなる精進を重ね、地域社会に対してその役割を果たして参りたいと思っております。

（総合施設長 村山勇治）

第10回 さやかのつどい

今年で「さわかのつどい」も10年目。天気にも恵まれ、盛大に開催することが出来ました。もともとは地域の方に対しての感謝とさわかグループをもっとたくさんの方に知ってもらおう、という意味合いで始めたのが9年前。さわかグループの一大行事としてその歴史を刻んできました。当時はまだ来客者も数百名くらい、どうやったらもっとたくさんの方に来ていただけるのだろうか？もつとさわかを知っていただけるのだろうか？と職員が知恵を出し合ってきました。そのかいあってか今では800名を超える多くの方がご来場いただいています。今では「さわかのつどいでは良いものが手に入る」など、ありがたいお言葉をいただけるようになりました。

現在の福祉の流れは「地域生活」。障がいがある方でも地域で当たり前の生活をする事を目指しています。その地域生活をスムーズにおこなう為には地域の方々の理解、協力が不可欠です。こういった行事を通じて地域の方々と交流を深められれば幸いです。

最後に、これだけの行事をおこなえる様になったのも、当法人の趣旨をご理解いただき、お忙しい中ご協力いただいた多数の事業所様ボランティアでお出でいただいた皆様方のおかげです。本当にありがとうございます。来年は今年より更に発展し、楽しんでいただける「さわかのつどい」がおこなえるよう、取り組んでいきたいと思っております。

（荻原浩史）



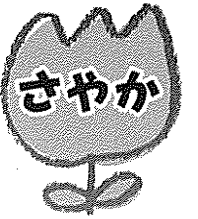
今年の漢字は「暑」でした。夏の記録的な猛暑を思い出します。皆さんはどんな年だったのでしょうか。さわかにとっては作業班の組み換えなど新しいことに挑戦した年だったと思います。さて新しい年ですが更に進化し続ける、そんな前向きな年にしたいものです。皆さんはどうですか？

あとがき

（塩川）



●事業所活動紹介●



新たな能力発見!! めざします。

こんにちは、「わかば」です。私たちは利用者10名で日々活動を行っています。

活動内容は、花壇の整備・玄関掃除・アルミ缶と段ボールの回収などたくさん。そのなかでも、私たちが最近力を入れている事があります。それは、室内活動の充実です。現在は、マット編み、花台磨き、雑巾縫い、折り紙工作、スタンプ押しなど、一人ひとり能力に合った作業を見つけています。そして、いつの日にか「この作業の上手な〇〇さん」と言われる様に、毎日楽しく・やりがいを持って過ごせるように、頑張っています。

私たちの合言葉は『長い目と広い心』。わかばメンバーの応援をよろしくお願ひします。

(千嶋瑞穂)



じゃんぷトレーニング

自立訓練「じゃんぷ」では今年度から心身の強化、リフレッシュ、健康増進等の為に週に一回トレーニングを行っています。

主にミューズパークでのランニング、浦山ダムでの階段ウォーキング、筋肉トレーニングに取り組んでいます。準備体操を入念にしていざ出発。始めた当初は直ぐに息が上がって立ち止まってしまう人、疲れ果てて諦めてしまう人、翌日の筋肉痛に悩まされる人がいましたが、毎週の積み重ねで体力が付いてきた様に思われます。今では楽しみの一つになっている利用者の方もおり、時間になるとジャージに着替え早々に出発準備をしています。職員はというと、利用者の若さに着いていくのに精一杯ですが、今後も暑さ、寒さに負けず、時には季節を肌で感じながら職員、利用者共々頑張っていきたいと思ひます。

(田端義郎)



ちちぶ借金なし味噌!!

ふらわあで10年以上も行っている味噌作り、新しい味噌が加わります。その名も『秩父借金なし味噌』。秩父在来種である『借金なし大豆』を使った味噌です。

借金なし大豆は作れば作るほど大量に採れて、その名の通り借金にならないという事から付いた名で、今では借金なし大豆を使った豆腐なども各所で作られているようです。その味は通常の大豆より甘みが強く、味噌にもその味わい深さがよく出ています。

『借金なし』の名前から、縁起の良い品として贈り物やお祝いなどに最適です。地産地消のこの時代に、秩父産で秩父在来種の『借金なし大豆』を使った『秩父借金なし味噌』はいかがでしょうか。

(千嶋健一)



みんなの会 栃木那須高原泊旅行

11月12、13日と19名で栃木那須高原へ1泊旅行に出かけました。バスに乗っている時からわくわく!!皆、この日を待っていたというような表情でした。

ミラバケツソのCMで有名なアルパカを見たり、サファリパークでは間近でぞうやライオンを見たりして皆さん良い体験をすることができたのではないかと思います。

また、おいしい料理を堪能し、カラオケでは自慢の歌声を響かせ、大満足の様子でした。カラオケに合わせた利用者さんのダンスで宴会がとても盛り上がりました。私自身も普段見ることのない利用者さんの一面を見ることとが出来、とても良い経験が出来ました。

皆さん楽しいひとときを過ごせたことと思ひます。

(田畑綾美)



ホームみんなの会忘年会

12月12日(日)ホームみんなの会忘年会を「ゆの宿 和どう」にて行いました。利用者、保護者、職員総勢94名。

会が始まる前はそれほど感じませんでした。席に着いて見るとやっぱり多いと人数に圧倒されました。

利用者による司会進行でしたが「あれ? 始まつちやつたの...」からすぐに「乾杯!」になり、会食となりました。一斉に各人の鍋に火が入ると熱気でムンムン。とてもホットな会の始まりでした。それぞれの席での話しも弾み、楽しそうな表情を見ることができました。

会も中盤に入り、いよいよ待ちに待ったカラオケタイムが始まりました。限られた時間内でのリクエストに応えるのに職員は髪を振り乱しての奮闘。ホーム最高齢の安永さんの歌から始まり、次々に自慢ののどを披露していました。最後のとりは坂本さんの「帰ってこいよ」で終わりましたが一芸に秀でた人だけに見事な踊りで予想以上の笑いを取っていました。

新しい年を迎え今年が皆さんにとっても良い一年になりますように。

(新井通代)



「男のく・女のく」

ともは、クラブ活動が充実しています。いろいろなクラブがありますが、全員参加のクラブがあります。男性が全員参加の「木工クラブ」、女性が全員参加の「美容クラブ」です。

「木工クラブ」は、現在桐の木を磨き表札を作製中です。やすりを使って、時間をかけてコツコツ磨く姿はまさに男らしい姿です。3月の作品展では力強い「表札」が展示されると思ひます。

「美容クラブ」は、洗顔・パックに基礎化粧品とゆつくりと時間をかけ女に磨きをかけていきます。パックを何人もしている姿を見た時には少しびっくりしましたが、もう慣れました。今度お目にかかる時には、とも女性の美しさに驚かれるのではないかと思います。

これから「とも」は、いろいろな経験をして豊かな生活ができるように日々楽しく過ごしていきます。

(松村佐智子)

